

12. 周産期・女性生殖器 Female Reproductive System and Perinatal Care

【1】期 間 2021. 6. 17～6. 28

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎京 哲（教授，産科婦人科学）

コース主任 腫 瘍 中山健太郎（准教授，産科婦人科学），

周産期 皆本敏子（講師，産科婦人科学），

不妊・内分泌 金崎春彦（准教授，周産期母子医療センター）

担当講座：産科婦人科学，病理学（病態，器官）

【3】一般目標 [G10 (General Instructive Objective)]

女性生殖器の解剖、妊娠・分娩・産褥の生理と病態、生殖・不妊・内分泌学、婦人科腫瘍学などの女性特有の臨床医学を学び、女性の生涯にわたっての健康に幅広く、かつ深く貢献できる臨床医となるべく、産科婦人科学の学問体系を学ぶ。

1. 女性生殖器の発生・分化および生殖生理を理解する。
2. 正常周産期医学の理解に必要な基礎知識（性器の解剖学，妊娠から分娩・産褥に至る生理学および内分泌学）を理解する。
3. 異常周産期医学における主要疾患の定義・原因・診断・治療を理解する。
4. 婦人科学の理解に必要な基礎知識（性器の解剖，内分泌学，不妊症学，更年期医学，腫瘍学，感染症学，婦人科手術学）を理解する。
5. 放射線治療についての基礎知識を習得する。
6. 母体保護法をはじめとする女性に関わる法律を学び，避妊法を含む家族計画について理解する。

【4】総合評価

コース終了時に、コース内容習得確認のためのレポートを提出し、その内容やオンライン授業の質疑応答などの評価等が考慮されます。

【5】参考図書（◎は学生購入推薦図書，他は図書館に備えてあります）

- ◎ 1. 標準 産科婦人科学（第3版），望月真人，医学書院，8,200円
2. 病気がみえる9婦人科，10産科，医療情報研究所，メディックメディア，各2,940円，3,150円
- ◎ 3. ベッドサイドの婦人科疾患の診かた，星 和彦ほか，南山堂，7,600円
4. 対策産婦人科（改訂第9版），榎木 勇，金芳堂，6,600円
- ◎ 5. NEW産婦人科学（改訂第2版），矢嶋 聡ほか，南江堂，9,500円
6. プリンシプル産科婦人科学1，2，坂元正一ほか，メジカルビュー社，各13,000円
7. 臨床エビデンス産科学，婦人科学，佐藤和雄ほか，メジカルビュー社，各12,000円，13,000円